

## 夏季ハンセン病資料セミナーのお知らせ

---

ハンセン病図書館友の会、ハンセン病市民学会図書・資料部会（準備会）は、ハンセン病問題についてレポートや卒業論文の執筆を予定している学部学生（高校生・院生も可）を対象に、下記のとおり資料セミナーを行います。入園者自身による講座に加え、資料収集・調査、聞き取り、写真撮影等、充実した講師陣をお迎えしました。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

- ◆主催 ハンセン病図書館友の会、ハンセン病市民学会図書資料部会（準備会）
- ◆協力 ハンセン病図書館、ハンセン病市民学会青年・学生部会

【日時】 7月29日（土） 10時半開講  
7月30日（日） 15時解散

【場所】 多磨全生園内中央集会所

【定員】 25名（園内の宿泊施設に宿泊可、要予約）  
（夜、講師、入園者を囲んで懇親会をいたします）

### 【講師】

山下道輔（入園者、ハンセン病図書館主任）

「ハンセン病図書館の設立と理念」

大竹 章（入園者、『無菌地帯』〈草土文化〉著者）

「記録を残すということ——『俱会一処』の編纂」

国本 衛（入園者、『生きて、ふたたび』〈毎日新聞社〉著者）

「検証会議でも触れられなかった在日の問題」

蘭 由岐子（神戸市看護大学助教授、『「病いの経験」を聞き取る』〈皓星社〉著者）

「ハンセン病療養所におけるライフヒストリー実践」

寺島萬里子（医師・カメラマン、『写真集 病癒えても』〈皓星社〉著者）

「ハンセン病療養所で写真を撮りつづけて」

畑谷史代（信濃毎日新聞記者、『差別とハンセン病』〈平凡社新書〉著者）

「裁判への視点——語られなかったことについて」

### 【チューター】

荒井裕樹（東京大学大学院）

坂田勝彦（筑波大学大学院）

宿泊費（夕食・朝食込み2,000円）ほか資料費1,000円。

宿泊をご希望の方、また二日目の昼食（弁当）をご希望の方は、その旨、申し込みの際にお伝えください。

### 【参加申込】

締め切りは7月20日（木）とさせていただきます。

住所氏名、電話番号、大学名（学部・学科）、学年、論文・レポートテーマ（仮でも結構です）をお知らせください。あらかじめ希望や質問があれば、明記のうえ下記へお申し込みください。

### 【参加申込・問い合わせ先】

藤巻修一（ハンセン病図書館友の会）

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-5 皓星社内

TEL 03-5306-2088 FAX 03-5306-4125

mailto:[fuji@libro-koseisha.co.jp](mailto:fuji@libro-koseisha.co.jp)

佐藤健太（ハンセン病図書館友の会、ハンセン病市民学会青年・学生部会）

mailto:[sbenzo@theia.ocn.ne.jp](mailto:sbenzo@theia.ocn.ne.jp)

TEL 090-8085-5367